

Diffeology と微分形式

岩瀬 則夫 (九州大学)

Iglesious Zemnour の本により基礎が固められたとされる Souriau の Diffeology についてその概要を解説し, 岡山大学の島川さんのグループの結果や九大の泉田氏の結果についても触れたい. さらに, Diffeology や Chen space そして単体圏の圏論的な枠組みが Grothendieck 流の site (sight ではない!) の言葉でどの様に表されるかを Baez-Hoffnung の論文に沿う形で解説し, その流れから Diffeology に対する微分形式の新しい定義を定式化するのが目標である.